

6 / 19 (金) の発表



ウポポイ
NATIONAL ANTI-MISGONISM CENTER
民族共生象徴空間

北海道白老町に2020 OPEN!

報道発表資料の配付日時 6月19日(金) 16時30分

発表項目 (行事名)	「日口さけ・ます漁業交渉」(日本200海里水域分)の結果について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	令和2年6月15日(月)から東京都で開催されていた、日本200海里水域における日本国漁船によるロシア系さけ・ますの2020年における操業条件等を定める「日口漁業合同委員会第36回会議」は、6月18日(木)に妥結しましたので、お知らせします。		
参考			

報道(取材) に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	水産林務部水産局漁業管理課 国際漁業係 (担当者: 谷内) TEL ダイヤルイン 011-204-5487 内線 28-402
-------------	---

令和2年6月19日
北海道水産林務部

「日ロさけ・ます漁業交渉」（日本200海里水域分）の結果について

令和2年6月15日から東京都において開催されていた「日ロ漁業合同委員会第36回会議」は、6月18日に妥結しました。

概要は以下のとおりです。

- 1 開催月日：令和2年6月15日（月）～6月18日（木）
※ 今回の交渉は、本年4月13日から4月17日まで行われた交渉に引き続き開催されたもの
- 2 場 所：東京都（モスクワとのテレビ会議）
- 3 出席者
 - （1）日本側：黒萩 真悟（くろはぎ しんご） 水産庁増殖推進部長（日本政府代表）
ほか、外務省、水産庁、北海道庁及び関係団体の関係者
 - （2）ロシア側：サフチュク P. S. 連邦漁業庁副長官（ロシア政府代表）
ほか、外務省、連邦漁業庁等の関係者
- 4 結果概要
 - （1）漁獲量
カラフトマス、ベニザケ、ギンザケ、マスノスケ 計1,550トン※（前年同）
シロザケ 500トン（前年同）
合 計 2,050トン（前年同）
※ ベニザケ、ギンザケ、マスノスケについては、3種合わせて1隻当たり1トン以内とする。
 - （2）漁業協力費
2億6,000万円～3億13万円の範囲で漁獲実績に応じて決定。
（前年は、2億6,412万円～3億13万円の範囲で漁獲実績に応じて決定。
協力費実績額 2億6,412万円。）

連絡先：北海道水産林務部水産局漁業管理課
国際漁業係
代表：011-231-4111（内線28-406）
直通：011-204-5487

日口さけ・ます漁業交渉
(日口漁業合同委員会第36回会議：日本200海里水域内)
妥結に関する水産林務部長談話

日本200海里水域内における我が国さけ・ます漁船の操業条件等を協議するため、6月15日から東京都で開催されていた日口漁業合同委員会第36回会議が、6月18日に妥結しました。

日本200海里水域のさけ・ます流し網漁業は、近年水揚げの不振が続いており、今年度においてもマスの不漁に見舞われるなど、非常に厳しい状況となっています。

そうした中、本年の交渉は、世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4月10日の操業始期を過ぎての開始となったほか、両国間の往来の禁止から対面での協議を行うことが出来ないなど、極めて難しいものとなりましたが、このような異例の事態の中、事前の折衝を通じて4月10日からの操業機会を確保いただけたこと、また、協議が中断となった後も粘り強い交渉を継続していただき、漁獲量に応じて支払われる漁業協力費の最低額が若干引き下げられ、妥結に至ったことにつきまして安堵するとともに、交渉にご尽力されました政府代表や関係者の皆様方のご労苦に対し、心より敬意を表し、深く感謝申し上げます。

令和2年6月19日

北海道水産林務部長 佐藤 卓也